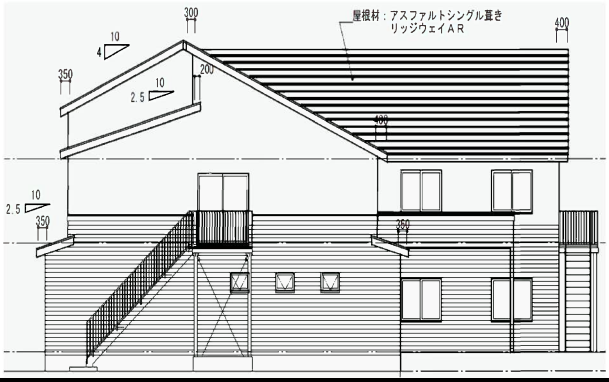
CASBEE®新潟 評価結果

■使用評価マニュアル: **CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版**
■使用評価ソフト: **CASBEE新潟v.4.0.2**

1. 建物概要

建物名称	新潟市中央区鐙3 丁目計画 新築工事
建設地	新潟県新潟市中央区鐙三丁目406 番1 外1 筆
用途地域	第1種住居地域、防火地域 指定なし
建物用途	病院,
竣工年	2021 年6月 竣工
敷地面積	2,176.49 ㎡
建築面積	1,099.37 ㎡
延床面積	2,076.89 ㎡
階数	地上 2 階
構造	木造
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2020 年6月10日



2. CASBEE新潟の評価結果

★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★ B⁺: ★★★ B⁻: ★★ C: ★

B-

$$\text{BEE} = \frac{\text{Q 建築物の環境品質}}{\text{L 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{42.1}{42.2} = 0.9$$

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価項目	項目番号	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	3.0	バリアフリー計画	Q2.1.1.3	3.0
		維持管理	Q2.1.3	3.0
		設備の更新性	Q2.3.3	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	3.0	耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1	3.0
		信頼性	Q2.2.4	3.0
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0	雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	4.5	建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	5.0
		自然エネルギー利用	LR1.2	4.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.7	節水	LR2.1.1	4.0
		躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	3.0
		部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	1.5	生物環境の保全と創出	Q3.1	1.0
		敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	2.0
7. 新潟のまちらしさへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	2.0	まちなみ・景観への配慮	Q3.2	2.0
		地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）

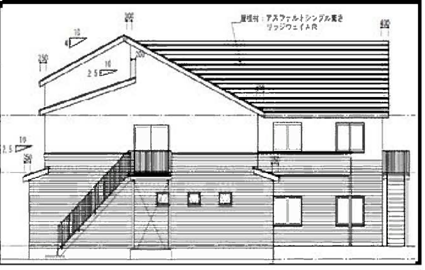
CASBEE®新潟　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版　使用評価ソフト：CASBEE新潟v.4.0.2

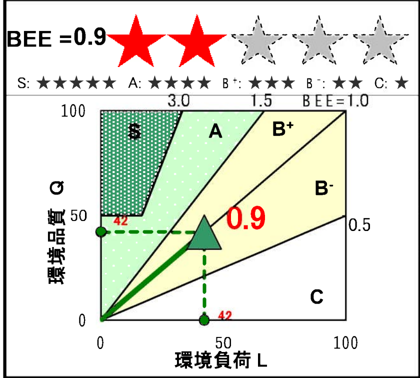
1-1 建物概要

建物名称	新潟市中央区鐙3丁目計画 新築工事	階数	地上 2 階
建設地	新潟県新潟市中央区鐙三丁目406番1外1筆	構造	木造
用途地域	第1種住居地域、防火地域 指定なし	平均居住人員	90 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021 年6月　竣工	評価の実施日	2020 年6月10日
敷地面積	2,176 ㎡	作成者	小嶋　悟
建築面積	1,099 ㎡	確認日	2020 年7月2日
延床面積	2,077 ㎡	確認者	青木　富一郎

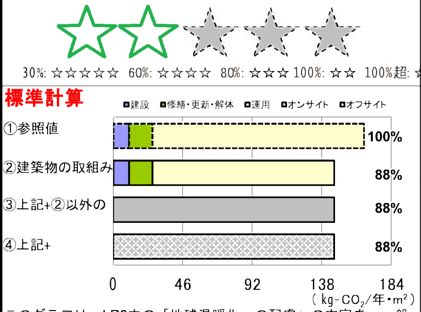
1-2 外観



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

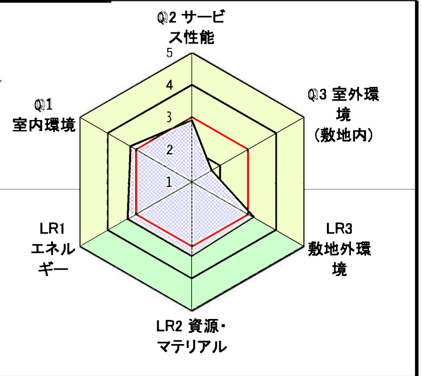


2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

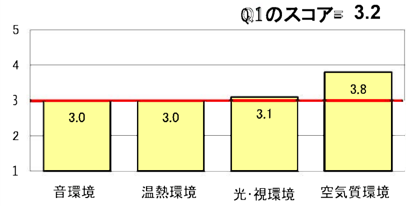
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



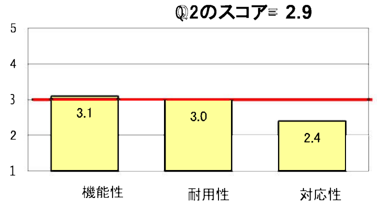
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　*Q のスコア= 2.6*

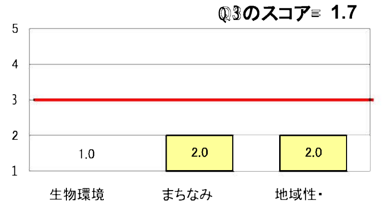
Q1 室内環境



Q2 サービス性能

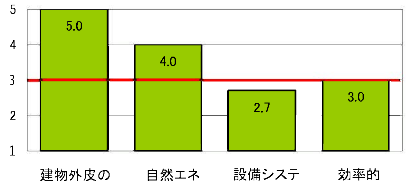


Q3 室外環境（敷地内）

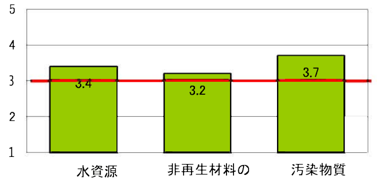


LR 環境負荷低減性　*LR のスコア= 3.3*

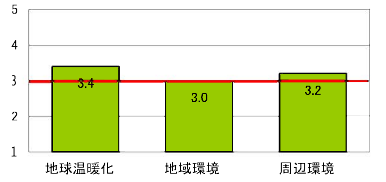
LR1 エネルギー



LR2 資源・マテリアル



LR3 敷地外環境



3 設計上の配慮事項

総合
利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。
主要給排水配管は耐用年数が長い材料を使用している。
ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。

その他
特になし。

Q1 室内環境
共用部分: 2.5%≦ [昼光率]。
宿泊部分: 1.25%≦ [昼光率]。

Q2 サービス性能
個室10㎡/床で、かつ多床室8㎡/床以上。
0.1　[壁長さ比率] <0.3。
主要な用途上位3種の、2種類以上にC以上を使用。

Q3 室外環境（敷地内）
特になし。

LR1 エネルギー
BPIm=0.56 。

LR2 資源・マテリアル
節水コマなどに加えて、省水型機器（節水型便器など）などを用いている。
LGS使用している。

LR3 敷地外環境
ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物（参照値）に対して88%。
評価する取組み表の評価ポイントの合計値が4ポイント。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される